



建築主：郵政省(当時)
 設計：郵政省大臣官房建築部(当時)
 施工：(株)奥村組東京支社
 共立建設(株)東京支店
 東鉄工業(株) [共同企業体]
 所在地：千葉市中央区富士見1丁目3-2

景観に配慮した建築物

ぱ・る・るプラザ千葉

(千葉郵便貯金地域文化活動支援施設)



北側の外観 (撮影：イースタン写真 富岡淳)

スパ・アクアフィットネス

「ぱ・る・るプラザ千葉」は、郵政省が建設した全国で3番目の地域文化活動支援施設であり、千葉駅東口の至近距離に立地している。

敷地周辺は市街地整備から取り残されてきた地域であるが、工事に先立ち郵政省と千葉市の用地交換によって街路拡幅等を行ったため、人の流れにも変化が表われて賑わいが生まれ、周辺地域活性化の起爆剤ともなっている。

建設に際して、多くの市民の要望を参考にした上で、音楽専用ホールを中心とした各種健康増進施設、会議室、情報コーナー、郵便貯金PRコーナー等を複合した文化・余暇施設で構成することに決まったと聞く。

外観はタイルの凹凸や鏡面リブのつくる光と影の変化によって、建物の表情を生き生きとさせ、見る人に季節感や自然環境の移ろいを意識させる等格調の高い洗練されたデザインが印象的である。

音楽ホールは、各種演目に対して幅広く対応できるように種々の音響調整装置を備え、隣接する鉄道やモノレール等からの防音・防振対策として、防振ゴムによる遮音層を設け、更にホール全体を浮き構造としている。



ぱ・る・るホール

地上60mの最上階にあるプールは、「空中庭園」をイメージした自然光と緑に包まれた快適な都心のリゾートとして多くの市民に愛用されている。いささか高価な公共施設ではとの指摘もあったが、本施設が千葉の新しい文化創造・発信の拠点となり、地域振興の核となる東口駅前再開発の先導的役割を担う建築として期待する声も大きく、総合的にバランスの取れた高品質の作品として、高い評価を集めた。

(明智克夫)